

ました。最初堂宇は中ノ峰にあって本尊虚空蔵菩薩坐像を安置したが、正安年中（1299～1301）に堂宇・宝塔とも全焼し、現在の位置に再建されました。昭和33年（1958）には大修復工事が行われています。本尊の木造虚空蔵菩薩坐像は昭和41年（1966）に県文化財に指定され、本堂も翌年県文化財に指定されました。

Q 271 菊川町内の各神社でも特殊神事が挙行されていましたが、年月の経過と共に種々の神事が跡を絶っています。その中で風鎮祭（米作り中の自然災害ゼロ祈願）の1ヶ月前迄に序祭としての『御みくじ神事』を継続している神社があります。この神社は農耕民の熱き祈願の供え物としての行動約束を「神のお告げで決める」のです。（和紙3ミリ×5ミリ小さな短冊に行動約束の文字を書き宮司が御幣で釣り上げる）山口県でただ一社、この神事を挙行しているのは何という神社でしょう。

- ① はくさんだいごんげん白山大権現 ② 日瀬陣神社 ③ 七見八幡宮
④ 田部八幡宮 ⑤ こうち河内神社

答え ①白山大権現

解説 明治7年（1874）村社に列する、4勸請年【元慶3年（879年）加賀より】短冊に書かれる文字は3種類で、お百度参り、お潮汲み参り、神社お籠もり、で各短冊共に6枚で、合計18枚の短冊を三方の上に撒き、和紙御幣の裾で吊り上げます。徒歩で小串までの潮汲み、家族全員で宮石段のお百度参り、は辛い諸行でした。

《文化財・レトロ建築物》

Q 272 下関市には国指定史跡が八件あります。以下に記す五件のうち国指定史跡でないのは、どれでしょうか。

- ① 長門鑄銭所跡 ② 梶栗浜遺跡 ③ 綾羅木郷遺跡

④上の山古墳

⑤仁馬山古墳

答え ④上の山古墳

解説

下関市の国指定史跡は上記の①②③⑤の他、高杉晋作墓、中山忠光墓、土井ヶ浜遺跡の計7件です。上の山古墳（現・綾羅木の川北神社）は、明治42年（1909）川北神社の社殿造営工事中に見られました。発掘調査はしていませんが、全長が100メートルを越えると推定される前方後円墳です。出土したf字鏡板付轡かがみいたつきくつわから推定して、上の山古墳の築造時期は6世紀前半と考えられています。f字鏡板付轡は、県内では他に例がないものですが、他の出土品とともに東京国立博物館に保管されています。

川北神社で毎年9月に行なわれる「風祭」（風鎮祭）は、よく知られています。境内には長府毛利第14代藩主元敏てんがく篆額てんがくの「流芳」碑が、明治2年（1869）3月に建立されました。これは江戸時代の享保年間きょうほう（1716－36）に造られた、綾羅木村専用の灌漑用水路「鷹伏掛用水」を發議し、完成に尽力した、邨田重永・水川信久の両長府藩士を称えた頌徳碑です。碑の横には二人を祀った「水神社」があります。

Q273

響灘むつしほに浮かぶ六連島むつれしまには、天然記念物があります。島の中央頂上部に露出する岩が、その天然記念物ですが、この岩はなんという岩でしょうか。

- ①ペトログラフ ②六連御影岩 ③角閃岩かくせんがん ④雲母玄武岩うんも げんぶがん
⑤六連花崗岩

答え ④雲母玄武岩

解説

六連島の中央の小高い丘には、世界でも3箇所しかないといわれる「雲母玄武岩」があります。雲母玄武岩は、火山活動により噴出した高熱の玄武岩が、海水で急激に冷やされることにより無数の小さな穴ができ、その内側に4mmほどの光を放つ黒雲母と角閃石の結晶が生じ

た大変珍しいもので、明治の初め頃発見されました。日本では六連島だけのもので、昭和9年（1934）1月22日に国の天然記念物に指定されました。

🎧 Q274 ふたおいじま 蓋井島の「山ノ神」神事は国と市の無形民俗文化財、「『山ノ神』の森」は国の重要有形民俗文化財です。この神事は毎年あるわけではありません。さて何年ごとにあるでしょうか。

- ① 2年ごと ② 3年ごと ③ 5年ごと ④ 7年ごと
⑤ 9年ごと

答え ④ 7年ごと

解説 響灘に浮かぶ蓋井島の山ノ神神事は7年ごとに行われる神事で、古い形の農耕儀礼の形を残し祖霊信仰と結び付いており、その起源は極めて古く、民俗学的に貴重な祭りです。「『山ノ神』の森」は国の重要有形民俗文化財に、神事は国と市指定の無形文化財となっています。

🎧 Q275 うきいし 豊田町浮石の赤崎神社に伝わるかくおど楽踊りは、下関市の無形民俗文化財の指定を受けています。これは別名何と呼ばれているでしょう。

- ① けいとう 鶏鬪踊り ② さぎ舞 ③ 笹踊り ④ 岩戸神楽舞
⑤ 奉納踊り

答え ① 鶏鬪踊り

解説 赤崎神社に伝わるまんねんがんかくおど万年願楽踊りは、別名「鶏鬪踊り」ともいわれます。二羽の鶏が中心で、その周囲を子どもがダラリの五色で着飾って、かね鉦をたたいてまわります。江戸の初期頃、当地方に牛馬の悪疫が流行した際に、その厄払いの祈願に奉納したといわれています。

Q276 こうざんじ 長府の功山寺には、国宝の仏殿があります。仏殿に関連する説明のう

ち、誤っているのはどれでしょうか。

- ① 仏殿の内陣柱上部に「此堂元應二年卯月五日柱立」の墨書きがある。
- ② 一重裳階附入母屋造、いちじゅうもこしつき いりもやづくり ひわだぶき 桧皮葺。
- ③ 鎌倉の円覚寺舍利殿（国宝）とともに、わが国を代表する唐様建築。えんかくじ しゃり でん からよう
- ④ 裳階は江戸時代初期に付加した。もこし
- ⑤ 大正七年（1918）の解体修理で、さんかむらぶき 棧瓦葺から桧皮葺に復元された。

答え

④

解説

昭和59年（1984）の屋根替の際の調査で、現在の仏殿裳階は室町中期ころの大改造による付加と判明しました。（「金山、功山禅寺」による）かりやく 嘉暦2年（1327）の創建とされていますが、仏殿の内陣柱上部に「此堂元應二年（1320）卯月五日柱立」の墨書きがあります。いずれにしても鎌倉末期に建立された、わが国を代表する唐様（禅宗様）建築です。建物の特色としては、礎石と柱の間に木製の礎盤を入れ、上下部分が細くなるちまき 粽型の柱、かとう 花頭窓、さんからと 棧唐戸、おうきたるき 扇柱などです。波（弓）欄間は前後左右に曲っています。床は四半瓦敷となっており、天井の内陣は鏡天井で、丸山晚霞が石楠花を描いています。この寺は石楠花寺ともいわれます。

Q277 長門国一の宮住吉神社は文化財の宝庫といわれ、中でも本殿は国宝です。おおうちひろ よ 大内弘世が再建した現在の本殿の説明で、誤りはどれでしょうか。

① くけんしゃながれづくり 九間社流造。

② 御祭神は第一殿が住吉大神荒魂。第二殿がおうじん 心神天皇。第三殿がただけうちのすくねのみこと 武内宿禰命。第四殿がじんぐうこうごう 神功皇后。第五殿がただけみ なかたのみこと 建御名方命（諏訪明神）。

③ 正面五箇所、ちどりはふつき 千鳥破風附 桧皮葺。

④ ぎょくでん 玉殿五基、むなふた 棟札四枚も国宝。

⑤室町中期の神社建築として、貴重な存在。

答え ⑤

解説 本殿は室町初期の神社建築として、貴重な存在です。応安3年(1370)大内弘世が再建した後、何度も修理されましたが、再建時の面影をよく残しています。内陣の御神体を安置してある玉殿五基は檜皮葺で、本殿と同時期に造られたと推定されています。本殿棟札四枚は安永4年(1775)、文化13年(1816)、嘉永2年(1849)、文久2年(1862)のもので、春日造りと流れ造りを組合せた特徴のある優美で荘厳な本殿は、参拝者の心を打つものがあります。

Q278 下関市には国宝の建物二棟と、重要文化財の建物二棟があります。重要文化財の住吉神社拜殿に関連する説明のうち、誤りはどれでしょうか。

- ① 拜殿は、本殿の正面中央に接し、これと直角に建てられています。
- ② 天文8年(1539)毛利元就が建立し寄進しました。創建当初の原形や特徴を現在に伝えています。
- ③ 檜皮葺、切妻造、平入、桁行二間、梁間一間、四方吹抜きです。
- ④ 破風、懸魚(破風の栞の下、またその左右に付けた飾り)などにも特徴があります。
- ⑤ 正面の「住吉荒魂本宮」と書かれた額は、有栖川宮熈仁親王の御染筆です。

答え ③

解説 この拜殿は、檜皮葺、切妻造、妻入、桁行三間、梁間一間、四方吹抜きです。このように縦に長い拜殿は少なく、文化的意義も深いと言われています。昭和29年(1954)9月17日、国の重要文化財に指定されました。なお額には「有栖川宮一品熈仁親王」と署名が記されています。

● Q 279 文化財の宝庫、長門国一の宮住吉神社には銅鐘（重要文化財）があります。朝鮮鐘といわれるこの鐘は、もとは鐘楼に吊るしていました。現存する鐘楼を寄進したのは、誰でしょうか。

- ①大内弘世^{ひろよ} ②毛利秀元 ③豊臣秀吉 ④厚東義武^{こうとう}
⑤毛利元就^{もとなり}

答え ⑤毛利元就

解説 住吉神社の記録では「天文8年（1539）毛利元就鐘楼ヲ修造ス」とあります。現在、宝物館にある銅鐘の製作年代は、高麗時代（918～1392）初期の頃と言われています。その伝来については、神功皇后^{じんくう}が持ち帰ったという説、豊臣秀吉の朝鮮出兵の戦利品説などがありますが、明らかではありません。神社の記録によれば、秀吉説はあり得ないこととなります。

住吉大神を深く尊崇していた大内氏は、その祖先を百済国聖明王^{くだら、こくせいめいおう}の王子琳聖太子^{りんしょう}と信じており、朝鮮と日本の文化交流に貢献し、住吉神社に奉納されたものではないか、という説もあります。高さ1・47メートル、口径78・3cm、重量約800kg、その形は優美で住吉の名鐘といわれています。上部の鐘を吊るす部分は龍頭で玉をくわえています。また天人の浮彫りもあります。この銅鐘は願をかけてこれに触れる人は、必ず良縁を得るとか、あるいは恋が成就するという効能を持つと語り伝える人もいます。これは優美な天人（天女）の文様によるものと思われます。

Q 280 歴史の古い下関には文化財が多くあります。以下の建造物で下関市指定文化財でないものは、どれでしょうか。

- ①旧野々村家表門 ②吉岡家長屋 ③菅家長屋門^{かんげ}
④高林寺山門^{こうりんじ} ⑤功山寺総門^{こうざんじ}

答え ⑤功山寺総門

解説

功山寺総門は、登録有形文化財です。室町中期頃の建物と推定されています。本柱が棟木際までのびる禅宗様の四脚門。控柱が各二本。軒周りは大幅に改変されているが、軸部（柱などの骨組み）は、室町中期の形式を伝えています。数少ない室町時代の禅宗様四脚門として貴重なものです。扁額は「海右第一峯」。刀傷とみられるものは、元治元年（1864）12月15日深夜、高杉晋作が決起した際に隊士が切りつけたと言われていますが、史実は不明です。総門の下には「高杉晋作回天義挙之所」と記された石碑が建ち、明治維新発祥之地・下関の誇りを今に伝えています。

● Q 281 赤間神宮の宝物殿には重要文化財の紙本墨書平家物語があります。平家物語は内容によっていろいろな系統のものがありますが、赤間神宮にある平家物語は何本と呼ばれているでしょうか。

- ①長門本 ②赤間本 ③長州本 ④馬関本 ⑤海峡本

答え

①長門本

解説

平家物語は、鎌倉時代初期に成立した原型は3巻で、のち内容も増加して普通本は12巻となりました。その後いろいろな系統の南部本、延慶本、長門本などが現れました。赤間神宮の平家物語は、もともと安徳天皇を祀っていた阿弥陀寺に伝えられていたもので、国の名前から長門本と称されました。長門本全20巻の書き写された年代は文明（1469～1487）のころ。昭和20年7月（1945）の空襲で被災し、損傷を受けましたが、昭和24年（1949）に全巻補修され保存されています。

Q 282 赤間神宮には「紙本金地着色安徳天皇絵」（安徳天皇縁起絵図）八幅（県文化財）があります。その七・八巻が壇之浦合戦の場面ですが、以下の説明のうち誤りは、どれでしょうか。

①安徳天皇御入水ごじゅすいの場面は、かなり擦り減っている。

- ②海豚^{いるか}の大群が出現したので、陰陽師^{おんみょうじ}安部晴信に吉凶を占わせている。
- ③絵の作者は土佐光信と伝えられ、室町時代初期の作といわれている。
- ④平教経^{たいらののりつね}に追われた義経^{と き みつゆふ}が、いわゆる「義経の八艘^{はっそう}飛び」で味方の船へ逃げている。
- ⑤建礼門院の入水と救出の場面がある。

答え ③

解説

この絵の作者は土佐光信と伝えられ、室町時代（1392～1573）の末期を下らない時期の作品といわれています。この絵は安徳天皇^{みえい}御影堂の外陣^{どう げじん}を飾った襖絵^{ふすま}で、安徳天皇と平家一門の栄華から滅亡への悲劇を八幅の絵に展開しています。その七・八巻が壇之浦合戦であり、その部分は「みもすそ川公園」に複製の小形の碑（壇之浦古戦場址の碑）があります。また、めかり第二展望台の「源平壇之浦合戦絵巻陶板壁画」として描かれています。

阿弥陀寺では参拝者が襖絵を拝観するとき、僧侶などが解説していました。これを絵説^{えとぎ}といひ解説書も残っています。吉田松陰も絵説を聞いたと^{かいほきりゃく}「廻浦紀略」に記しています。安徳天皇御入水の場面は、かなり擦り減った状態になっており、解説者が熱中して何回も説明したものだと思われます。

Q 283 赤間神宮には平家一門の肖像画があります。五名の男性は黒色の衣裳を着ていますが、一名だけ異なる色の衣裳を着ています。その一名の名前と衣裳の色は、どれでしょうか。

- ①平知盛^{たいらのとももり}・山鳩色 ②平資盛^{たいらのすけもり}・山鳩色 ③平教経^{たいらののりつね}・黄色
- ④平教盛^{たいらののりもり}・黄色 ⑤平資盛^{たいらのすけもり}・赤色

答え ②平資盛・山鳩色

解説

平家一門の肖像画は、もとは安徳天皇^{あんどく}の御影堂^{みえいどう}の内部にありました。室町時代末の作といわれます。堂の中心に安置された安徳天皇

の木彫像を守護するように配されていました。いずれも安徳天皇を最後まで供奉していた人たちで、廊御方（清盛娘）、大納言典侍（重衡妻）、帥典侍（時忠妻）、治部卿局（知盛妻）の女房と、知盛（清盛子）、教盛（清盛弟）、経盛（清盛弟）、資盛（重盛子）、教経（教盛子）、信基（信範子）の武将です。男性像五名は、いずれも黒色の強装束の束帯姿、女性像は十二単です。平資盛は当時の役職が藏人頭（侍従長）で、天皇陛下の常服を下賜される名誉な立場なので、山鳩色（青味のある黄色）の束帯姿で描かれています。

● Q 284 平成20年（2008）9月、「九州・山口の近代化産業遺産群－非西洋世界における近代化の先駆け」の構成資産として世界遺産暫定一覧表に記載が決定した下関市の史跡はどこでしょう。

- ①旧秋田商会ビル ②旧下関英国領事館
 ③下関南部町郵便局 ④東行庵 ⑤前田砲台跡

答え ⑤前田砲台跡

解説 日本の近代工業化は、非西洋地域において、最初でかつきわめて短期間に飛躍的な発展を遂げた世界史的にも特筆すべき事柄であり、「九州・山口の近代化産業遺産群－非西洋世界における近代化の先駆け」の世界遺産暫定一覧表記載決定は、九州・山口地域に数多く残されている近代化産業遺産が、その基礎としての幕末明治期の西洋技術の導入や、その後の近代工業化の過程を明確に示す資産として、世界的に高い価値を有するとの評価がなされたものです。前田砲台跡は、「長州藩において尊皇攘夷から開国を主張する勢力が台頭する契機となった下関四国艦隊砲撃事件の砲台跡」として、顕著な普遍的価値を有しています。

Q 285 下関は神戸・横浜に次ぎ、明治大正の洋風建築の先進地でした。その繁栄を象徴する建物の一つ、重要文化財の旧下関英国領事館関連の説明で正しいのは、どれでしょうか。

- ①下関市に現存する明治大正の洋風建築の中で、3番目に古い。
- ②設計者は長崎の領事館も手がけた、英国人ハンセルです。
- ③英国領事館は、明治34年（1901）英国領事アーネスト・サトウが本国に具申し、開設されました。当初は瓜生商会（現ナカトラビルの場所）に開設されていました。
- ④現存する領事館建築としては、全国最古です。平成11年（1999）に国の重要文化財に指定されました。
- ⑤明治38年（1905）に建設した煉瓦造り、瓦葺、二階建てです。

答え

④

解説

①明治33年（1900）建設の南部町郵便局なべちように次ぎ、2番目に古い。②設計者は英国人コーワン。③英国公使アーネスト・サトウが本国に具申しました。アーネスト・サトウは元治元年（1864）8月、長州藩と四国連合艦隊との講和談判の際は、通訳を務めたので、下関に大変ゆかりがある人物です。⑤明治39年（1906）に建設されました。一階南側が領事室、北側が海事監督官室、二階は居間と寝室でした。この建物では、映画「長州ファイブ」の撮影も行なわれました。

◎ Q 286

旧下関英国領事館の小屋裏に取り付けられている、上棟の年月日が記されたものは何でしょう。

- ①棟札
- ②棟木
- ③幣串へいぐし
- ④小屋束こやづか
- ⑤陸梁りくばり

答え

③幣串

解説

上棟式とは、建築儀礼のひとつであり、棟木を上げるときに行われます。大地をつかさどる神に守護を感謝し、家屋の棟をつかさどる神々に事の成就を願う祭事です。上棟式の際に、建物の新築、再建、修理を行ったときに、施主や施工者（大工）の氏名、年号、祈願文などを墨書した細長い板状のものがつくられます。これが棟札です。旧下関英国領事館では、棟札に代わるものとして、「上棟 明治参拾九年八月九日」書かれた幣串が棟木に打ち付けられています。なお、

旧下関英国領事館の幣串は、重要文化財の附指定になっています。

Q287 洋風建築の先進地であった下関には、現在も多くのレトロな建物が残っています。その一つ、旧秋田商会に関連する説明のうち、誤りはどれでしょうか。

- ①日本最古の屋上庭園（日本庭園・^{せいかにん}棲霞園）には茶室もあります。当初は屋上に当主の秋田寅之介が信仰する宮地獄神社を祀っていました。
- ②秋田商会は明治38年（1905）の創立で、主に木材取引を中心とした商社活動と海運業を営み、台湾・朝鮮半島・満洲にも進出した港湾都市下関を代表する企業でした。
- ③建物は、大正5年（1916）建設の鉄筋コンクリート造り。三階建て、一部地下一階、塔屋付きです。
- ④内部は一階を洋風の事務所、二階と三階を書院造り住居としています。水洗便所も設置されていました。
- ⑤現在、下関観光情報センターとなっており、一階には「金子みすゞ・^{かみやま が すけ}上山雅輔のへや」（雅輔はみすゞの実弟）があります。ビルの前は「金子みすゞ^{うた こみち}詩の小径」の出発点になっています。

答え

③

解説

旧秋田商会は大正4年（1915）の建設です。西日本初の鉄筋コンクリート造りといわれています。屋上庭園では園遊会も行なわれ、リフトで料理を運んでいました。塔屋は灯台の役目をしており、沖を通る自社の船と交信していました。情報を重視し、電報の発着が早いため、赤間関郵便電信局（現・^{なべちやう}南部町郵便局）の隣を選定しています。また東側に防火壁を設けており、防火扉も設置しています。

Q288 下関は明治大正の洋風建築の先進地でした。今も多く残るレトロ建築の一つ、下関^{なべちやう}南部町郵便局に関連する説明で、誤りはどれでしょうか。

- ①明治33年（1900）の建設で、当初は赤間関郵便電信局（現・南部町郵便局）でした。一階で郵便、二階で電信の業務を行っていました。
- ②設計は逓信省技師・山田守。煉瓦造り二階建て、施工は岩崎組。
- ③現役郵便局舎として、日本最古です。下関に残るレトロな洋館としても最古です。国登録有形文化財。
- ④中庭には「葉書はがきの木」と言われる「多羅葉たらよう」があり、「葉書」の語源の説明もあります。中庭や喫茶店を使用して、結婚式なども行っています。
- ⑤当時市役所裏あたりに住んでいた指物師たわらやたかしちの俵谷高七は、明治34年（1901）俵谷式柱箱（最初の赤い鉄製の丸ポスト）を考案し、逓信省はこのポストを全国の主な郵便局に設置しました。

答え

②

解説

設計は逓信省技師ていしんしょう・三橋四郎みつはしです。明治後半は彼ら日本人技術者たちが、一定水準の西洋建築技術を習得し、活躍しました。三橋は当時の建築思想の論客でした。なお、俵谷高七は明治37年（1904）自動郵便切手葉書売下機（切手葉書の自動販売機）を製作しました。木製で精巧に出来ており、釣銭まで出るようになっていました。日本に現存する最古の自動販売機といわれ、現在は東京の逓信総合博物館に保存されています。

Q 289 下関は近代日本の興隆とともに繁栄し、神戸横浜に次ぎ明治大正の洋風建築の先進地でした。今に残るレトロな建物のひとつ、旧山陽ホテルの説明のうち誤りはどれでしょうか。

- ①現存する旧山陽ホテルは、東京駅を手がけたことで知られる辰野葛西建築事務所たつのの設計とされています。
- ②大陸へ渡る皇族方や政財界・軍の要人が多く利用しました。
- ③昭和17年（1942）までは山陽ホテルの海側に下関駅があり、東京ステーションホテル、奈良ホテルと並んで日本三大ステーションホテル

ルと言われました。

- ④女性従業員は有名女学校出身の才媛で器量よし。「紫の君」とよばれ、紫の着物と紫の袴の制服姿で、心のこもった接待に努め大人気でした。
- ⑤来日したアインシュタイン博士夫妻も金子みすゞも、この建物を見えています。

答え ⑤

解説

山陽ホテルは明治35年（1902）開業しましたが、大正11年（1922）火災で焼失します。現在の建物は、大正13年（1924）再建したものです。大正11年（1922）12月、来日したアインシュタイン博士夫妻は山陽ホテルの前にあった鉄道旅館濱吉で昼食をとりました。従って博士夫妻は現在の建物は見ていません。金子みすゞは昭和2年（1927）夏、下関駅の歩廊で西條八十と僅か5分間の対面をしました。（「下関の一夜一亡き金子みすゞの追憶」西條八十）この対面は、かねてからの彼女の希望だったのです。みすゞは嬉しさに胸を躍らせて、この建物を見たことでしょう。

Q 290 下関市役所第一別館（市文化財）についての説明の中で、誤りはどれでしょうか。

- ①この建物は旧^{ていしんしょう}逓信省下関電信局電話課庁舎で、大正13年（1924）に建設しました。逓信省営繕課設計。
- ②逓信省建築課長内田四郎の考案で、特許を取得した「内田式防火流水装置」が取り付けられました。この装置が取り付けられていた建物は、関門地区ではここしか残っていません。
- ③平成11年（1999）、一時解体が決まっていたが、市民の熱心な要望活動が実を結び再度保存が決定し、再活用することとなりました。
- ④構造は鉄筋コンクリート造りですが、壁には煉瓦も使っています。
- ⑤三階建てで、二階は電話交換室、三階は福利厚生のための部屋などです。当時の下関郵便局は大陸などへの回線を受持つ、国の重

要施設でした。

答え ②

解説 「内田式防火流水装置」は、当時の電話局の建物には必ず取り付けられました。非常時には、塔屋に収められた水槽から天井裏の配管を伝って二階窓上部の穴から放水され、水の膜が建物を覆う仕組みになっていました。門司にある「門司電気通信レトロ館」は大正13年（1924）に建設した、旧逓信省門司郵便局電話課庁舎です。「内田式防火流水装置」が取り付けられ、昭和20年（1945）の空襲の際は役に立ったそうです。現在も三階の窓の上に穴があるのが確認できます。

Q 291 大正13年（1924）に竣工した旧逓信省下関電信局電話課庁舎（下関市近代^{けんしやうかん}先人顕彰館）には、当時、最新式の電話交換機が全国で3番目に導入されたと言われています。さて、この交換機が最初に導入された都市はどこでしょうか

①東京 ②神奈川 ③埼玉 ④大阪 ⑤京都

答え ⑤京都

解説 下関における電話事業の開始は明治31年（1898）であり、大陸の玄関口として発展していったことで電話の需要は急増していきました。そのような中、旧逓信省下関電信局電話課庁舎は、電話交換方式の技術革新により新たに導入された共電式電話交換業務を実施するために建設されました。共電式は、京都・東京に次ぎ全国3番目に下関に導入されたと言われています。

Q 292 洋風建築の先進地でもあった下関には、数多くのレトロな建物が残っています。その一つである「山口銀行旧本店」に関連する説明で正しいのは、どれでしょうか。

- ①平成16年（2004）から耐震補強を含む保存改修工事が行なわれ、平成17年（2005）に市文化財に指定されました。
- ②大正10年（1921）の建設で、当初は三井銀行下関支店でした。
- ③設計は、銀行建築設計の第一人者として名高い長野宇平治です。この建物は、本格的な古典主義様式とされています。
- ④構造は煉瓦造りで、二階建て、地下一階です。
- ⑤公開されているこの建物に接して、三階建ての「やまぎん史料館」が新築されました。屋上の芝生庭園からは、美しい関門海峡が眼前に臨めます。

答え ③

解説 ①平成17年（2005）に県文化財に指定されました。②大正9年（1920）の建設です。④構造は煉瓦及び鉄筋コンクリート造りです。⑤山口銀行創業130周年記念事業で新築された「やまぎん史料館」は四階建てです。山口県の金融や産業に関する史資料の展示の他、山口県の伝統工芸を紹介する展示室も設置しています。

🕒 Q 293 阿弥陀寺町の海峡が一望できる小高い岡の上に、昭和初期に建てられた鉄筋コンクリート造り3階建ての白亜の建物があります。この建物は現在記念館となっていますが、なんの記念館でしょうか。

- ①田中絹代記念館
- ②藤原義江記念館 ふじわらよしえ
- ③二村定一記念館
- ④木暮実千代記念館
- ⑤金子みすゞ記念館

答え ②藤原義江記念館

解説 阿弥陀寺町の海峡が一望できる小高い岡の上に、鉄筋コンクリート3階建ての白亜の建物があります。これは英国系商社ホーム・リンガー商会の代理店として設立された瓜生商会在、社長の息子であるM・リンガーのために建てた住宅です。建設は昭和11年（1936）。その後、瓜生商会支配人宅などとして使用されましたが、昭和53年

(1978)以降、日本にオペラの基礎を創り上げた藤原義江に関する資料を公開する「藤原義江記念館」として使われています。これは藤原の父であるN・B・リードが、明治・大正期、瓜生商会の支配人をしてきたことによります。

🎧 Q 294 旧不動貯蓄銀行下関支店は、昭和9年(1934)に建てられましたが当時非常に珍しい建物でした。その理由はなんでしょうか。

- ①屋上庭園 ②屋上テラス ③総ガラス張り
④免震構造 ⑤鉄筋コンクリート造り

答え ④免震構造

解説 旧不動貯蓄銀行下関支店は、昭和9年(1934)に南部町に建てられました。建物は鉄筋コンクリート造り地上3階、地下1階建て。この建物は全体的には重厚な印象のする建物ですが、当時では非常に画期的な基礎部分に「免震構造」が採用されています。この建物は、現存する世界初の実用免震建物であるといわれています。現在は、山口県労働金庫下関支店となっています。

🎧 Q 295 近代捕鯨の基地として知られている下関の足跡が下関に残っています。それは昭和元年(1926)に造られた旧日本捕鯨別館です。この建物はどこにあるのでしょうか。

- ①細江町 ②岬之町 ③観音崎町 ④入江町 ⑤唐戸町

答え ②岬之町

解説 近代捕鯨の基地として知られる下関。その繁栄の足跡が、岬之町にある小高い丘に残っています。この建物は、昭和元年(1926)に建設された旧日本捕鯨別館です。岡十郎がソルウェー式捕鯨法を導入した日本遠洋漁業(株)を設立したことで、捕鯨による下関の繁栄が始まりました。その後、同社は東洋漁業(株)、日本捕鯨(株)と名前を変

えました。現在この地に立つ鉄筋コンクリート造り2階建てのビルは、旧日本捕鯨別館とされています。昭和9年（1934）から36年までの間、日本捕鯨株の事務所として使用されていました。

● Q 296 関門海峡から少し離れた上田中町二丁目の小高い場所に、南国の雰
囲気が漂う洋館があります。コロニアルスタイルの特徴がよく現れている
建物で、明治38年（1905）ごろ、長崎市で建設、大正5年ごろに
宣教師館として下関市に移築されたと伝えられています。さて、この
建物は今何という名称でしょうか。

- ① 暁の星幼稚園別館
- ② めぐみ幼稚園第二園舎
- ③ 海の星幼稚園別館
- ④ 天使幼稚園別館
- ⑤ 下関バプテスト教会教育館

答え ② めぐみ幼稚園第二園舎

解説 めぐみ幼稚園第二園舎は、現在幼稚園の図書室などとして使われ
ています。この建物は、明治38年（1905）ごろ、長崎市で建設され、
大正5年（1916）ごろに宣教師館として下関市に移築されたと伝え
られています。外観正面は、中央にある玄関を中心にほぼ左右対称に
整然と窓が並び、ベランダとともにコロニアルスタイルの特徴がよく表
れています。宣教師館時代、ここに住んだのは下関バプテスト教会に
派遣された宣教師たちです。この建物は文書伝道の拠点として機関
紙の発行なども行いました。

● Q 297 国道453号を日本海側に向かう途中、外壁が薄青色、2階のドームが
おしゃれな洋風建築が、豊田町にある旧殿居郵便局。さて、2階の
ドームは何角形でしょうか。

- ① 三角形
- ② 五角形
- ③ 六角形
- ④ 七角形
- ⑤ 八角形

答え ⑤ 八角形

解説

豊田町西市から国道435号を日本海方面へ向かう途中、外壁が薄青色、2階に八角形のドームがおしゃれな洋風建築が旧殿居郵便局。明治35年（1902）に開局した殿居郵便局は、局舎建て替えに際し、当時の河田寛局長と地元の大工棟梁石光孝一氏が東京の洋館を見学し、大正12年（1923）に局舎が完成しました。大正時代に、地方でも洋風建築が取り入れられるようになった時期の近代建築で、昭和52年（1977）に県の有形文化財に指定されました。

● Q 298 元滝部小学校の本館（現豊北歴史民族資料館）は、大正13年（1924）3月に完成し、昭和54年（1979）3月に山口県有形文化財に指定されています。この元滝部小学校を寄贈した、中山太陽堂（現クラブコスメチックス）創設者であり、貴族院議員だった人は誰でしょう？

- ①中山小三郎 ②中山^{とよぞう}豊三 ③中山壽一 ④中山太一
⑤中山弾正

答え

④中山太一

解説

中山太一は、明治14年（1881）豊北町滝部の中山小三郎の長男として生まれ、14歳のとき家郷を出て、長府桂弥一翁に師事し、その薫陶感化をうけたが、独立自営の志高く、神戸市に化粧品店を開き、それを基としてクラブ化粧品の創立製造に成功した。その後苦勞を重ね、遂に、国内化粧品界の王座を占め、傍ら貴族院議員など多くの公職を兼ねることとなった。また、彼は、絶えず故郷の開発に努力し、元滝部小学校の新築等住民福祉に寄与しました。

※①は太一の父、②は太一の弟で太一とともに滝部小学校の寄贈をした。③は太一の子。⑤は太一の先祖

● Q 299 左官職人が壁塗りなどに使用する漆喰と鏝を使い、図柄や文様を立体的に描いた「鏝絵」。下関市豊浦町では室津地区に多く残るこの絵は、通常、家のどの部分に飾られるものでしょうか。

- ①門柱 ②軒下 ③玄関又は廊下 ④床の間
⑤屋内の井戸

答え ②軒下

解説 明治24年（1891）と34年（1901）の二度にわたって大火災に見舞われた室津地区では、家屋の再建時、2階の壁まで漆喰を塗るといいう耐火工法が用いられました。その際、2階の軒下の壁や戸袋に、鶴や亀、龍や鳳凰など縁起のいい図柄、姓の頭文字などを模した文様が、左官職人の精巧な技術によって描かれたのです。今では家屋の建て替えや壁の修復などで多くが失われましたが、かろうじて残っている十数か所の鏝絵はみな、左官職人の消えゆく技巧を誇らしげに物語っています。

🌟Q300 下関市史に「考古学の先駆者」として、その名を記されている人がいます。彼は徳山の出身で明治31年（1898）山口尋常中学校豊浦分校（現・県立豊浦高等学校）の教員として赴任し、仕事の余暇に市内や近郊の古墳十六基を調査しています。彼は誰でしょうか。

- ①かきたに鍵谷徳三郎 ②まさよし原田政佳 ③椿惣一 ④藤田正
⑤道岡香雲

答え ①鍵谷徳三郎

解説 下関市史によれば、鍵谷徳三郎は徳山の出身。東京高等師範学校を卒業し、明治31年（1898）9月、山口尋常中学校豊浦分校（現・県立豊浦高等学校）の教員として赴任しました。仕事の余暇に、下関市内や近郊の古墳十六基を調査し、明治35年（1902）彼が雑誌「考古界」に、その調査結果を発表しています。鍵谷は明治34年（1901）11月、名古屋陸軍地方幼年学校の国語漢文の教官として赴任、名古屋市熱田高倉貝塚の調査も行なっています。在任中に橋周太校長（長崎県千々石出身）と親しく交わり、尊敬していました。橋中佐の伝記も書いています。橋中佐が明治三十七八年戦役

(日露戦争)で戦死したのち、有名な軍歌「軍神橘中佐」を作詞しました。この歌は上が1番から19番、下が1番から13番まである長い歌詞で、橘中佐の壮烈な最期を格調高い言葉で描いた、勝れた作品です。(遠陽城頭夜は闌けて・・)。

🎧 Q 301 唐戸市場立体駐車場の隣に、人工の池のようなものがありますが、これは元々何の目的で作られたものでしょうか。

- ① 訓練所 ② 貯水池 ③ ドック ④ 避難所 ⑤ プール

答え ③ ドック

解説 唐戸市場立体駐車場の隣にある人工の池のようなものは、旧内務省下関土木出張所の乾船渠(かんせんきょ) (ドック) の跡です。大正3年(1914)に完成した、全国最古級の無筋コンクリート造のドックで、当時から下関港が全国的に重視されていたことを示す貴重な遺産の1つです。

Q 302 菊川町吉賀の快友寺は、中国で出版された「明版一切経」を所蔵しており、それは山口県の文化財として指定されています。さて、日本で最も多くの所蔵として有名な快友寺の「明版一切経」ですが、そのうち函号、経名ともに確認されているのは何帖でしょうか。

- ① 791帖 ② 1325帖 ③ 5413帖 ④ 5566帖 ⑤ 6373帖

答え ③ 5413帖

解説 快友寺の「明版一切経」の一部はかつての火災のときに水をかぶったとみられ、本紙が固まり、函号などが読みとれないものが31帖あるが、函号、経名ともに確認できたものは5413帖あります。快友寺のほか、日本で確認されている「明版一切経」は立正大学図書館の558帖と龍谷大学図書館の3帖のみです。

🎧 Q 303 菊川町的美栄神社(檜崎)には、天文元年(1523)に鑄造された鱈

ぐち
口があります。これは山口県の有形文化財に指定され、現在は下関市立長府博物館で管理されています。この鰐口は刻まれた文字により、あしやのつ ただひで 葦屋津の名工・大江宣秀が作ったことがわかります。さて、これに刻まれた葦屋津はどこにあるのでしょうか。

- ①山口県 ②兵庫県 ③福岡県 ④長崎県 ⑤京都府

答え ③福岡県

解説 鰐口に刻まれた銘文から、この鰐口は豊東郡岡枝郷の妙見社に奉納されたことが判ります。美栄神社は享和3年（1803）に創立されましたが、妙見社はそれ以前の名称です。なお、葦屋は福岡県遠賀川河口にある芦屋で、かつては『芦屋釜』の名で知られる鋳物業の盛んなところで、とりわけ大江宣秀の名は著名です。

🕒 Q 304 明治4年（1871）に建設されたわが国初の立標（浅瀬を知らせる標識の一つ。当時は礁標）に由来する灯台が役割を終えながらまだ残っています。なんという名前の灯台だったでしょうか。

- ①台場鼻灯台 ②荒田防波堤灯台 ③福浦防波堤灯台
④金ノ弦岬灯台 ⑤唐戸恋人灯台

答え ④金ノ弦岬灯台

解説 旧金ノ弦岬灯台は、明治4年（1871）、関門海峡に西洋の技術で造られた国内初の立標（浅瀬を知らせる標識の一つ。当時は礁標と呼ばれていました）に由来するものです。日本の灯台の父と呼ばれる英国人技師ブランドンが設計したこの立標は、大正時代に市内最南端の今の場所（大字彦島金ノ弦岬）に移されました。石造りで高さは8.1m。立標の面影を残すこの灯台は、わが国の海上交通上、下関が重要な地であったことを示す貴重なものです。平成16年（2004）4月13日に、下関市の有形文化財に指定されました。